

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第4項

【提出先】 北陸財務局長

【提出日】 平成25年11月8日

【四半期会計期間】 第86期第1四半期（自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日）

【会社名】 日本製麻株式会社

【英訳名】 THE NIHON SEIMA CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 中本 広太郎

【本店の所在の場所】 富山県砺波市三島町11番18号

本社事務取扱場所 兵庫県神戸市中央区海岸通8番

【電話番号】 神戸(078)332-8251

【事務連絡者氏名】 取締役経理部長 中川 昭人

【最寄りの連絡場所】 富山県砺波市下中3番地3
(旧 最寄りの連絡場所： 富山県砺波市三島町11番18号)

【電話番号】 砺波(0763)32-3111

【事務連絡者氏名】 執行役員北陸工場長 渋谷 忠孝

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)
日本製麻株式会社神戸本部
(兵庫県神戸市中央区海岸通8番)

1 【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

第86期第2四半期累計期間（自平成25年4月1日至平成25年9月30日）の決算作業の中で、連結資料を詳細に検討したところ、平成25年8月14日に提出いたしました第86期第1四半期（自平成25年4月1日至平成25年6月30日）に係る四半期報告書の中で特別損益の子会社清算益3,790千円の誤謬による記載があることが判明し、これを訂正するため四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

なお、四半期連結財務諸表の記載内容に係る訂正箇所についてはXBRLの修正も行いましたので、併せて修正後のXBRLデータ一式（表示情報ファイルを含む）を提出いたします。

訂正後の四半期連結財務諸表については、なぎさ監査法人により再度四半期レビューを受けており、その四半期レビュー報告書を添付しております。

2 【訂正事項】

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移

第2 事業の状況

3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

(1) 業績の状況

第4 経理の状況

1 四半期連結財務諸表

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

四半期連結包括利益計算書

注記事項

（1株当たり情報）

3 【訂正箇所】

訂正箇所は___を付して表示しております。

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

回次	第85期 第1四半期 連結累計期間	第86期 第1四半期 連結累計期間	第85期	
			自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
会計期間	自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日	
売上高 (千円)	1,172,141	1,050,892	4,679,671	
経常利益又は経常損失() (千円)	36,467	16,190	138,637	
四半期純利益又は 四半期(当期)純損失() (千円)	48,041	<u>4,850</u>	326,345	
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	39,132	<u>147,131</u>	176,910	
純資産額 (千円)	1,713,228	1,640,452	1,497,141	
総資産額 (千円)	4,784,193	4,477,412	4,209,341	
1株当たり四半期純利益又は1株当 たり四半期(当期)純損失金額() (円)	1.31	<u>0.13</u>	8.90	
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)				
自己資本比率 (%)	24.0	21.8	21.5	

(訂正後)

回次	第85期 第1四半期 連結累計期間	第86期 第1四半期 連結累計期間	第85期	
			自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
会計期間	自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日	
売上高 (千円)	1,172,141	1,050,892	4,679,671	
経常利益又は経常損失() (千円)	36,467	16,190	138,637	
四半期純利益又は 四半期(当期)純損失() (千円)	48,041	<u>1,060</u>	326,345	
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	39,132	<u>143,341</u>	176,910	
純資産額 (千円)	1,713,228	1,640,452	1,497,141	
総資産額 (千円)	4,784,193	4,477,412	4,209,341	
1株当たり四半期純利益又は1株当 たり四半期(当期)純損失金額() (円)	1.31	<u>0.03</u>	8.90	
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)				
自己資本比率 (%)	24.0	21.8	21.5	

第2 【事業の状況】

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

(訂正前)

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,050百万円（前年同四半期比10.3%減）、営業利益は22百万円（前年同四半期は40百万円の営業損失）、経常利益は16百万円（前年同四半期は36百万円の経常損失）、四半期純利益は4百万円（前年同四半期は48百万円の四半期純損失）となりました。

(訂正後)

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,050百万円（前年同四半期比10.3%減）、営業利益は22百万円（前年同四半期は40百万円の営業損失）、経常利益は16百万円（前年同四半期は36百万円の経常損失）、四半期純利益は1百万円（前年同四半期は48百万円の四半期純損失）となりました。

第4 【経理の状況】

1 【四半期連結財務諸表】

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(訂正前)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	1,172,141	1,050,892
売上原価	953,592	833,772
売上総利益	218,548	217,120
販売費及び一般管理費	258,590	194,707
営業利益又は営業損失()	40,042	22,413
営業外収益		
受取利息	845	930
受取配当金	3,979	3,671
為替差益	9,407	-
物品売却益	420	5,048
その他	664	631
営業外収益合計	15,317	10,281
営業外費用		
支払利息	9,468	8,948
為替差損	-	5,148
その他	2,273	2,408
営業外費用合計	11,742	16,504
経常利益又は経常損失()	36,467	16,190
特別利益		
子会社清算益	-	3,790
特別利益合計	-	3,790
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	36,467	19,980
法人税、住民税及び事業税	4,187	3,440
法人税等調整額	7,419	18,509
法人税等合計	11,606	21,949
少数株主損益調整前四半期純損失()	48,074	1,969
少数株主損失()	32	6,820
四半期純利益又は四半期純損失()	48,041	4,850

(訂正後)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	1,172,141	1,050,892
売上原価	953,592	833,772
売上総利益	218,548	217,120
販売費及び一般管理費	258,590	194,707
営業利益又は営業損失()	40,042	22,413
営業外収益		
受取利息	845	930
受取配当金	3,979	3,671
為替差益	9,407	-
物品売却益	420	5,048
その他	664	631
営業外収益合計	15,317	10,281
営業外費用		
支払利息	9,468	8,948
為替差損	-	5,148
その他	2,273	2,408
営業外費用合計	11,742	16,504
経常利益又は経常損失()	36,467	16,190
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	36,467	16,190
法人税、住民税及び事業税	4,187	3,440
法人税等調整額	7,419	18,509
法人税等合計	11,606	21,949
少数株主損益調整前四半期純損失()	48,074	5,759
少数株主損失()	32	6,820
四半期純利益又は四半期純損失()	48,041	1,060

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(訂正前)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失()	48,074	1,969
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18	17
為替換算調整勘定	87,225	149,083
その他の包括利益合計	87,206	149,100
四半期包括利益	39,132	147,131
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,151	74,788
少数株主に係る四半期包括利益	46,283	72,342

(訂正後)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失()	48,074	5,759
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18	17
為替換算調整勘定	87,225	149,083
その他の包括利益合計	87,206	149,100
四半期包括利益	39,132	143,341
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,151	70,998
少数株主に係る四半期包括利益	46,283	72,342

【注記事項】

(1株当たり情報)

(訂正前)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額()	1円31銭	0円13銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額() (千円)	48,041	4,850
普通株主に帰属しない金額 (千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額 又は四半期純損失金額() (千円)	48,041	4,850
普通株式の期中平均株式数 (株)	36,679,078	36,677,253

(訂正後)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額()	1円31銭	0円03銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額() (千円)	48,041	1,060
普通株主に帰属しない金額 (千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額 又は四半期純損失金額() (千円)	48,041	1,060
普通株式の期中平均株式数 (株)	36,679,078	36,677,253

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月 8 日

日本製麻株式会社
取締役会 御中

なぎさ監査法人

代表社員 公認会計士 西 井 博 生 印
業務執行社員

代表社員 公認会計士 大 平 豊 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている日本製麻株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、日本製麻株式会社及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

その他の事項

四半期報告書の訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、会社は、四半期連結財務諸表を訂正している。なお、当監査法人は、訂正前の四半期連結財務諸表に対して平成25年8月14日に四半期レビュー報告書を提出した。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。